



# 緩和ケア通信

## VOL.3



### 緩和ケア病棟で遺族会を開催しました

遺族ケアとは・・・



大切な人、愛する人を喪（うしな）うことによって生じる悲しみのことを「悲嘆（グリーフ）」といいます。「遺族ケア」とは、がんによって家族を喪ったご遺族に対して、看取り時のケアに引き続いて提供されるケアで「グリーフケア」と呼ばれています。ご遺族へのケアはホスピス・緩和ケア病棟における重要な役割のひとつです。

今年度、当院緩和ケア病棟では、大切な方を亡くされたご家族へのケアとして、お手紙（グリーフカード）の送付および、初めての遺族会を開催しました。

平成31年3月10日（日）当院講堂で「第1回緩和ケア病棟遺族会」を開催しました。東海市の花に「洋らん」がありますが、そのなかのひとつの紫蘭（しらん）には「あなたを忘れない」「変わらぬ愛」といった花言葉があります。可憐な花の姿や花言葉から、遺族会の名称を「紫蘭の会」とすることとしました。

当日はあいにくの天気です。足下の悪い中、12名のご家族が参加して下さいました。初めての開催で運営に不安もありましたが、医師・看護師・薬剤師・理学療法士等の医療スタッフをはじめ、昨年10月～緩和ケア病棟で活動するボランティアとともに開催することができました。語り合いの中で、ご家族それぞれが体験している気持ちに参加者皆で耳を傾け、また自分の思いを語ることで感情を表出することにつながりました。「悲しみを分かち合えたことがよかった」との言葉も聞かれました。大切な方を亡くされたご家族の悲しみが少しでも和らぐことにつながれば幸いです。



緩和ケア病棟『紫蘭の会』  
記念撮影



会の様子

